あいかわ 議会だより

第191号
令和8年11月15日発行

色づき始めた木々と澄んだ空

表紙の場所

〈第３回９月定例会〉

- 「愛川町基金条例の一部を改正」など２件の条例を可決… P.2
- 令和７年度各会計決算を認定 …… P.2
- 国へ意見書を提出 …… P.8
- ふるさとまつり議場見学会を開催 …… P.16

議会クイズ 抽選で３名の方に商品券が当たる！

スマホで簡単応募

詳しくはP17をご覧ください

責任者　議会議長　山中　正樹
年４回発行

令和８年第３回愛川町議会「９月定例会」が、８月31日から９月25日まで、会期26日間（本会議開催６日間）にわたり開催されました。令和７年度各会計の決算をはじめ、教育委員会委員の任命、条例、補正予算など、16件の町長提出議案、委員会提出議案１件、議員提出議案３件について審議し、全議案を可決するとともに、７件の陳情を審議しました。

令和７年度決算を認定

令和７年度 各会計決算額

会計		歳入	歳出
一般会計		170億8,069万7千円	160億9,925万6千円
特別会計	国民健康保険	43億6,877万4千円	43億3,360万円
	後期高齢者医療	7億8,921万円	7億5,033万7千円
	介護保険	37億9,194万3千円	36億5,802万7千円
企業会計	公共下水道事業	16億3,591万3千円	20億2,764万3千円
	水道事業	8億1,724万8千円	9億6,498万円
合計		**284億8,378万5千円**	**278億3,384万3千円**

◎一般会計決算
（賛成全員）

◎国民健康保険特別会計決算
（賛成10人、反対３人）

◎介護保険特別会計決算
（賛成10人、反対３人）

◎公共下水道事業会計決算
（賛成10人、反対３人）

◎水道事業会計決算
（賛成10人、反対３人）

◎後期高齢者医療特別会計決算
（賛成全員）

（以上、賛成全員）

※議長は採決に加わりません

人事議案

◎教育委員会委員の任命
（賛成全員）

任期満了に伴い、引き続き次の方を任命することに同意したものです。

齊郷　浩之　氏

条例議案

◎愛川町基金条例の一部改正
（賛成全員）

企業版ふるさと納税による寄附金を次年度以降の「まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる事業」へ充当できるよう、新たに「まち・ひと・しごと創生基金」を設置するため、所要の改正を行うものです。

◎愛川町公共下水道事業の設置等に関する条例及び愛川町水道事業の設置等に関する条例の一部改正
（賛成全員）

「地方自治法」の一部が改正され、同法に新たな条文が追加されたことにより、条文の繰り下げが生じたため、所要の改正を行うものです。

【施行期日　公布の日】

補正予算

◎令和８年度愛川町一般会計補正予算（第３号）
（賛成全員）

歳入歳出予算の総額に、それぞれ１億２，４７３万３千円を追加し、一般会計の総額を１６０億２，８３０万円としたものです。

主な内容は、令和７年度に実施し、多くの申込みや問合わせのあった省エネ家電買替え購入費補助事業の再実施や、保護者負担の軽減を図るための中学校給食費支援事業を実施するほか、観光・産業連携拠点づくり事業に対する、企業版ふるさと納税寄附金１億円全額を、新たに創設する「まち・ひと・しごと創生基金」へ積み立てるものです。

◎令和８年度愛川町一般会計補正予算（第４号）
（賛成全員）

歳入歳出予算の総額に、それぞれ２１９万９千円を追加し、一般会計の総額を１６０億３，０４９万９千円としたものです。

主な内容は、半原老人福祉センター敷地内の倒木により破損した隠川放流警報局の原状復旧に係る費用と、その財源として保険金収入を追加するものです。

◎愛川町国民健康保険特別会計補正予算（第１号）
（賛成全員）

歳入歳出予算の総額に、それぞれ５９７万７千円を追加し、国民健康保険特別会計の総額を４５億７，６９７万７千円としたものです。

主な内容は、国民健康

令和８年第３回愛川町議会定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
8	31	月	本会議	会期の決定 常任委員会委員の選任 議会運営委員会委員の選任 陳情の委員会付託（７件） 出納検査結果報告（３件） 定期監査報告 教育委員会委員の任命（１件） 町長提出議案の説明 ほか
9	2	水	本会議	一般質問（６人）
	3	木	本会議	一般質問（４人）
	7	月	本会議	条例及び補正予算議案、事件議案の個人総括質疑、討論、採決
	8	火	本会議	令和７年度決算議案の会派代表総括質疑 委員会分割付託の決定
	11	金	総務建設常任委員会	付託案件の審査
	14	月	教育民生常任委員会	付託案件の審査
	15	火	総務建設常任委員会	付託案件の審査
	16	水	教育民生常任委員会	付託案件の審査
	25	金	本会議	町長提出議案の説明、質疑、討論、採決 付託案件の審査結果の委員長報告・質疑・討論・採決 委員会提出議案の質疑、討論、採決ほか

保険税の過年度減額更生等に伴う還付金が当初の見込みを上回ったことによるもので、予備費を充用してもなお不足する金額について増額し、また、それに伴い、予備費の予算がなくなることから、不測の事態に備え、予備費を増額するものです。

◎愛川町介護保険特別会計補正予算（第1号）（賛成全員）

歳入歳出予算の総額に、それぞれ２０３万４千円を追加し、介護保険特別会計の総額を３８億２０３万４千円としたものです。

主な内容は、システム改修に伴う神奈川県町村情報システム共同事業組合に対する負担金を増額するほか、介護保険事業運営基金の利子の積み立て、及び令和7年度概算交付された地域支援事業交付金の精算に伴い、超過額を返納するものです。

その他の補正予算

◎愛川町公共下水道事業会計補正予算（第1号）（賛成全員）

事件議案

■工事請負契約の締結について

◎令和8年度中津工業団地第1号公園テニスコート改修工事（賛成全員）

請負契約金額
５，３０２万円

請負契約の相手
株式会社　星建設

工期
契約締結の日から令和9年2月25日まで

■損害賠償額の決定

◎施設管理の瑕疵に係る損害賠償（賛成全員）

半原老人福祉センターにおいて敷地内の樹木（サクラ）が倒れ、国土交通省関東地方整備局相模川水系広域ダム管理事務所が設置している隠川放流警報局（宮ヶ瀬ダム放流警報用電気設備局舎）の屋根等並びに屋外拡声子局支柱の昇柱防止金具に損害を与えたもので、その修理費用を負担するものです。

損害賠償額
２１９万８，９００円
（全国町村会総合賠償補償保険により対応）

委員会提出議案

◎国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の実現を求める意見書の提出について（賛成全員）

すべての子どもたちが、全国どこに住んでいても一定水準の教育を受けられる環境の整備と、教育予算・義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書を提出します。

議員提出議案

◎特別自治市制度に関する十分な議論を尽くすことを求める意見書の提出について（賛成全員）

特別市制度について、県の広域調整機能の低下や財政格差の拡大、周辺自治体の行政サービスへの影響が懸念されるため、課題への具体的な対応策が示されないままの法制化に反対し、県全体への影響を踏まえた十分な議論を求めるべく、意見書を提出します。

◎非核三原則の尊重と堅持を求める意見書の提出について（賛成８人、反対５人）

日本が唯一の戦争被爆国として、非核三原則を堅持し、核兵器のない平和な世界の実現に向けて積極的に取り組むことを求める意見書を提出します。

◎地方税財政制度における新たな行政課題への的確な対応を求める意見書の提出について（賛成12人、反対１人）

自治体の行政需要や財政負担が増加する中、住民サービスを安定的に維持できるよう、普通交付税の不交付団体を含むすべての自治体に対し、国が十分な財源措置・必要な支援を講じることを求める意見書を提出します。

※意見書の詳細は８ページに記載しています。

個人総括質疑

補正予算及び条例に対し、鈴木議員・井出議員・佐藤議員・花上議員・渡辺議員の５名が個人総括質疑を行いました。質疑項目の一部を紹介します。

交通安全施設整備事業費
■増額の詳細について

高齢者バスフリーパス乗車券購入費助成事業費
■増額の詳細について

愛川町基金条例の一部改正
■改正の背景について

財産管理経費
■増額の詳細について

庁舎等維持管理経費
■増額の詳細について

学校給食費負担金
■減額の詳細について

過誤納付保険税還付金
■増額の詳細について

省エネ家電買替え購入費補助事業費
■事業費の詳細について

議会だよりは、愛川町録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障がい者用にCD化されています。

ご希望の方は、社会福祉協議会へご連絡ください。

TEL046-285-2111（内線3792）

左記の2次元コードから、前号の内容を聞くこともできます。

音声1

音声2

令和7年度決算議案に対する

会派代表総括質疑

各常任委員会へ審査付託前に本会議で、会派代表総括質疑を行いました。内容の一部を紹介します。

令和あいかわ（阿部　隆之　議員）

質疑動画

問 前年度と比べて経常収支比率が改善した要因について

町長 経常支出経費は、人件費は増加したが、扶助費等が減少した。一般財源収入は、普通交付税は減少したが、町民税等が増加したため。

経常収支比率が改善した要因については、経常的な支出は、人件費が増加したものの、扶助費や物件費が減少したことから、経常的経費充当一般財源が前年度から約400万円減少し、約89億3，600万円となりました。

一方、経常的な一般財源収入は、町民税や固定資産税、地方消費税交付金などの増加により、前年度から約6億7，000万円増加し、約101億7，100万円となりました。

この結果、分子が減少し分母が増加したことから、経常収支比率は6.2ポイント改善し、87.9％となりました。

（その他の質疑項目）

【個人町民税が前年度と比較して増となった要因について】　ほか4問

公明党（岸上　敦子　議員）

質疑動画

問 管渠老朽化率が前年度より0．05ポイント増の主な要因について

町長 下水道管渠の総延長は、前年度と同じですが、耐用年数を経過した管渠が前年度より増となったことで、管渠老朽化率は前年度に比べ増となったものです。

管渠老朽化率は、下水道管渠の総延長のうち、法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表す指標で、管渠の老朽化度合いを示しているものです。

令和7年度決算において、下水道管渠の総延長は、前年度と同じ226キロメートルでしたが、耐用年数を経過した管渠が前年度より100メートル増の10．3キロメートルとなったことで、管渠老朽化率は前年度に比べ0．05ポイント増の4．56％となったものであります。

（その他の質疑項目）

【基幹系情報システムの標準化移行作業の成果について】　ほか6問

日本共産党愛川町議員団（小林　敬子　議員）

質疑動画

問 国民健康保険税の不納欠損額と収入未済額が生じている主な理由について

町長 不納欠損額は、生活困窮等、収入未済額は、失業など収入が著しく低下した方の加入があることなどが主な理由となっています。

不納欠損額の主な理由は、事業経営の不振や疾病等による生活困窮者、次いで所在不明、滞納者本人が死亡し相続人が確認できない場合や、海外に出国し滞納処分をする財産が発見できない等となっています。

収入未済額の主な理由は、失業など収入が著しく低下した方の加入や、既に社会保険加入等により国民健康保険を脱退していることによる納税意識の低下、また、擬制世帯の場合における世帯主の納税認識が欠如していることなどが挙げられます。

（その他の質疑項目）

【町税収入未済額が前年と比べて減少した理由について】　ほか5問

愛川の新時代（渡辺　基　議員）

質疑動画

問 公共施設整備基金の決算年度末現在高の総括について

町長 個別施設計画に基づく適時適切な施設管理が行えるよう、可能な限り残高の確保に努めています。

公共施設整備基金への積立てについては、町公共施設等総合管理計画の実施計画となる個別施設計画に基づく適時適切な施設管理が行えるよう、平成30年度の基金創設以来、財政状況を勘案しつつ可能な限り残高の確保に努めています。

令和7年度においては、美化プラント施設修繕工事の財源として1，000万円余りを取り崩した一方で、3月補正で計上した1億5，000万円を積み立てることができたことなどから、令和6年度末残高と比較して1億4，200万円余り増の13億7，600万円余りとなったものです。

（その他の質疑項目）

【財政力指数の総括について】　ほか2問

あいかわ 議会だより 第191号

常任委員会での審査

令和７年度事業の決算審議をより詳細に行うため、各常任委員会で現地調査を行い、9月11日から16日まで、各事業に対する質疑及び事務事業評価を行いました。内容の一部を紹介します。

総務建設常任委員会

7月17日に、中津桜台地内雨水整備事業桜台排水区幹線水路整備工事や愛川橋付近防犯カメラ設置工事、田代運動公園自由広場トイレ改修（洋式化）工事、志田第一配水池電動弁設置工事など、8箇所の現地調査を実施しました。また、9月11日及び15日は各事業に対する質疑を行いました。

現地 7/17

美化プラント計量器更新工事

【評価】
良好かつ適正に執行されている。


計量器の調査（美化プラント）

一般管理経費

質疑9月11日

問 屋外勤務職員等への空調服購入費の詳細について

答 近年の猛暑に伴い、屋外での作業環境が悪化している状況に鑑み、現業職員やそれに準ずる職員の熱中症対策として、空調服を購入し貸与しました。

金額の詳細は、ファンを含めた空調服本体が29着、29万8，100円、専用バッテリーが37個、50万8，750円、全体で80万6，850円となりました。

有害鳥獣対策事業費

質疑9月15日

問 有害鳥獣対策用品購入費の詳細について

答 有害鳥獣対策に必要な追い払いや、捕獲等に係る消耗品や備品の購入経費となっています。

経費の詳細は、サルやイノシシの追い払いに使用する花火や爆竹、イノシシ用箱わなの部品の購入に係る消耗品費38万6，438円のほか、野生鳥獣の出没状況をパソコンやスマートフォンから確認するため、新たに導入したセンサー式ソーラーカメラ3基分の備品購入費19万8千円で、経費全体では58万4，438円を支出しました。

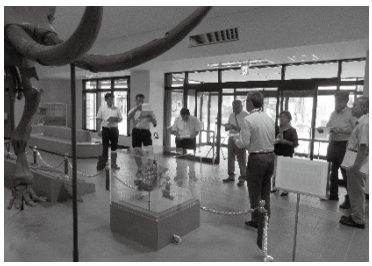
教育民生常任委員会

7月17日に、郷土資料館照明器具LED化改修工事や高峰保育園遊具塗装工事、中津第二小学校校内低圧架線柱更新工事など、6箇所の現地調査を実施しました。また、9月14日及び16日は各事業に対する質疑を行いました。

現地 7/17

郷土資料館照明器具LED化改修工事

【評価】
良好かつ適正に執行されている。


照明器具の調査（郷土資料館）

老人福祉管理経費

質疑9月14日

問 福祉バス借上料の詳細について

答 本町や社会福祉協議会が実施する福祉事業、老人クラブの研修や交流活動等において、民間事業者のバスを借り上げて参加者の移動手段を確保し、活動への参加を促進することを目的として実施しているもので、高齢者の社会参加やいきがいづくりを支援するとともに、団体活動の活性化及び地域福祉の推進につなげるものです。

令和7年度は、老人クラブを中心に66回運行し、577万9，488円を支出しました。

教育指導管理経費

質疑9月16日

問 医療的ケア支援体制整備事業の詳細について

答 医療的な生活援助行為が必要な児童が、学校で安全・安心に生活を送り、適切な教育を受けられるよう、受け入れ体制や支援環境の整備を図りました。

令和7年度は、一型糖尿病を患っている児童に対し、主治医の指示書に基づき、血糖値測定やインスリン投与などの適切な医療的ケアを実施するため、専門知識を持つ看護師の配置や関係機関との調整を行うとともに、衛生用品等の消耗品を確保し、安全な支援体制を構築しました。


©愛川町

討論

各会派が町長提出議案に対する討論を行いました。一部を紹介します。

※議会における「討論」とは提出された議案に対して「賛成・反対」の旨とその理由を述べて、他の議員を自己の意思に賛同させることを目的とする発言のことです。

賛成 令和あいかわ 阿部 隆之 議員

討論動画

全議案に対し、賛成の立場から、討論します。

【将来世代への負担を抑制した財政運営を評価】

令和7年度一般会計の歳入歳出差引額は9億8，144万1千円、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、8億4，925万8千円となりました。また、単年度収支、実質単年度収支も4億円余りの黒字となっています。経常収支比率については、前年度の94・1％から6.2ポイント改善し、87・9％となりました。経常収支比率が90％を下回り、財政運営の弾力性が改善したことは本町にとって明るい材料であり、地方債残高についても、令和3年度末の約66億8，900万円から、令和7年度末には約52億3，500万円まで減少しています。

これまで将来世代への負担を抑制しながら運営を行ってきたことを高く評価します。

一方で、7億1，675万9千円余りの不用額が発生しました。不用額が生じること自体は問題ではありません。翌年度の予算精度を高めるための情報とし、事業の見直し等、予算総額だけでなく、事業の総量そのものを管理するという考え方が必要と考えます。

【今のお金の使い方を決める必要性】

令和7年度の水道事業は黒字ですが、現在黒字であるということと、20年後30年後にも同じようにインフラを維持できるということとは別問題です。その年度だけの収支ではなく、将来の負担まで考えて、今のお金の使い方を決める必要があります。

【10年後20年後の愛川町は、いま創る】

個々の事業を増やし、行政サービスを拡充することだけではなく、これからの愛川町の重点分野を明確に示すべきです。

10年後20年後にどのような愛川町をつくるのか、その方向を町長が示し、そこへ財源と人的資源を集中することが、町長にしかできない選択と集中であると考えます。

賛成 公明党 井出 一己 議員

討論動画

全議案に対し、賛成の立場から、要望を交えながら討論します。

【訓練を通じ、連携体制の強化が図られたことを評価】

防災訓練事業では、多くの町民の皆さまや関係機関との実践的な訓練を通じ、連携体制の強化が図られたことを評価します。今後、個人備蓄を進めたり、自主防災組織の人材確保など、実際の災害に役立つ訓練を充実させるなど、地域防災力をさらに高めていただくよう要望します。

【経過措置終了後も継続できるよう期待】

帯状疱疹ワクチン接種事業では、1，775人もの方が同ワクチンを接種し、発症や合併症の予防、経済負担軽減に寄与してきました。令和7年開始の定期接種は、同11年に経過措置終了となりますが、その後も継続できるよう期待します。

【閲覧回数や関心の高まりを評価】

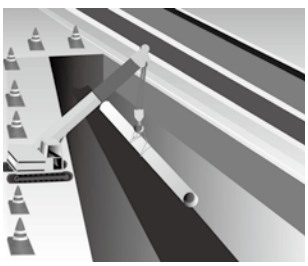
電子図書購入費は、町内全小中学校と連携し、児童生徒一人ひとりに電子図書館の利用アカウントを付与したことで、授業や朝読書、さらに家庭での読書活動など、読書機会の拡大につながりました。児童生徒の閲覧回数や、関心の高まりは評価できます。

一方、20歳以上の利用が少ないことから、紙の書籍とのバランスに配慮しながら、幅広い世代が利用できるよう、周知や蔵書の充実を期待します。

【老朽化対策、次期ストックマネジメント計画策定を評価】

下水道事業では、施設の老朽化や自然災害、特に局地的な集中豪雨などにより環境が大きく変わる中で、雨水出水浸水想定区域図の策定、施設の老朽化対策に加え、次期のストックマネジメント計画を策定したことを評価します。

今後、耐用年数を迎える管渠の増加が見込まれる中、計画的な老朽化対策と耐震化を一定的に進め、安全で持続可能な下水道施設の維持管理を望みます。



賛成 日本共産党愛川町議員団 小林 敬子 議員

討論動画

国民健康保険特別会計決算、後期高齢者医療特別会計決算を除き、要望を交えながら、賛成の立場で討論します。

【地方債の活用・基金の運用に評価】

地方債の活用は、後年度の財政運営に加え、世代間負担の公平性に配慮し、元金償還額以内の借り入れを基本とした上で、道路などの生活インフラをはじめ、町民の憩いの場である第1号公園再整備事業など、必要な事業の財源として計画的かつ適切な活用がなされたものと評価します。

また、基金の運用は、今後、公共施設の維持・更新に係る経費の増大が懸念されますが、後年度の弾力的な行財政運営に資するため、公共施設整備基金残高の積み増しを行い、さらに財政調整基金については、年度間の財政調整機能を発揮し、不足する財源へ繰り入れを行いつつ、決算剰余金の一部を積み立て、6年度末と同規模の残高を確保するなど、将来に渡って持続可能な行財政運営を行う手腕が見て取れ、評価します。

【給食費公会計化、職員体制の整備を期待】

小中学校給食費公会計化では、これまで教職員が担ってきた給食費の徴収や滞納への督促などの業務がなくなり、教職員が本来の教育活動に集中できるようになったことは、働き方改革の面で大きな成果となりました。

一方、教育委員会で徴収管理業務を一括して担うことにより、会計年度任用職員が配置されていますが、新たに配置された職員を周囲の職員の協力によって対応している状況では、長期的な負担に限界があります。今後は各部署の業務量や人員配置を改めて見直し、より円滑に業務を進められる体制の整備を期待します。

【地域包括ケアシステムの着実な展開を評価】

高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことのできる町づくりに向け、地域包括ケアシステムを着実に展開していることに対し評価します。

また、健全な介護保険財政運営の結果、実質収支1億3千万円余りが翌年度に繰り越されますが、これは第1号被保険者の方から徴収した保険料ですので、安定的な介護保険財政の運営に資するよう取り組みをお願いします。

【配水機能強化と維持管理を評価】

戸倉浄水場浸水対策工事による防災性強化を図るとともに、上熊坂地区などで耐震性の強い配水管の布設替工事を行うなど、配水機能強化と維持管理に努めたことを評価します。

賛成 愛川の新時代 熊坂 健太郎 議員

討論動画

全議案に対し、賛成の立場から、意見・要望を交え討論します。

【郷土愛と平和の尊さについて学ぶ機会づくりを評価】

令和7年、戦後80年を迎えた節目の年に、次世代を担う小学校6年生を対象に特別授業を実施し、町内の戦争遺跡の紹介や戦争に関する記録映像、戦時中の町内の暮らしなどに触れることで、郷土愛と平和の尊さについて学ぶきっかけになったことを評価します。

今後もこのような特別授業の継続がされていくことを期待します。

【犯罪の未然防止に寄与したことを評価】

近年多発している凶悪な強盗などから、町民の生命と財産を守るため、防犯対策に要した費用の一部を助成する住宅用防犯対策助成金事業において、令和7年度は125名の申請があり、110万円の助成をするなど、本事業により多くの住宅へ防犯対策が図られ、犯罪の未然防止に寄与したことを評価します。

今後も本助成事業のさらなる周知などに努めるよう期待します。

【補助制度の創設を評価】

農作業の省力化と廃プラスチック対策を推進するため、令和7年度より創設した生分解性マルチ購入費補助金事業は、申請者からも、収穫後に行う作業の大幅な軽減がなされたとの感想もあり、評価します。メリットの多い農業資材だと思いますので、今後も多くの農業者に利用してもらえるよう期待します。

【組織の見直しを要請】

町子ども会連絡協議会運営費補助金の使途は、地域の子ども会支援をはじめ、ふれあいレクリエーションや交流行事などを実施した経費となっています。

子ども会がない地域に居住する児童も参加でき、令和7年度は多摩動物公園におけるレクリエーションを企画し、単なる見学ではなく、小学校区や学年の枠を超えた交流ができたことなど、大変すばらしい取り組みであると評価するところですが、現在は7つの子ども会のみとなっている中で、補助金交付は問題があると言わざるを得ません。

今後、関係団体と協議する中で、新たな組織体制も視野に入れて取り組んでください。



国へ意見書を４件提出

～特別自治市の議論を促す意見書など～

※意見書の内容は一部抜粋・要約して掲載

詳細は
こちらから

特別自治市制度に関する十分な議論を尽くすことを求める意見書

横浜市、川崎市、相模原市が法制化を目指す「特別市」制度について、愛川町議会は、県の広域的な調整・支援機能の低下や地域分断、税財源の偏在による周辺自治体の財政力・行政サービスへの影響を懸念している。

特別市域外の市町村に対する不利益や影響、特別市制度がもたらす地域分断や財政格差の拡大という課題の解決策が具体的に示されないまま法制化されることに反対する。また、地方自治の根幹である地域全体の均衡ある発展と全ての住民の安心・安全な暮らしを保障する観点から、大都市側の主張のみならず、周辺自治体や県全体の行財政に与える影響を様々な角度から検証し、広範な視点から十分な議論を尽くすよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和８年９月25日

衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、内閣官房長官、
内閣府特命担当大臣、
総務大臣、財務大臣　殿

国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の実現を求める意見書

１　教育の機会均等、水準の維持・向上、無償制の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を存続・拡充させること。また、学校事務職員・学校栄養職員をその対象から外さないこと。さらに、義務教育教科書無償給与制度を継続すること。

２　ゆきとどいた教育を実現するために、現行の「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の検討をすること。

３　学校の働き方改革・長時間労働の是正を実現し、教職員が子どもと向き合う時間を確保するために、加配の配置増など教職員定数改善を推進すること。また、スクール・サポート・スタッフ、介助員等の専門スタッフ職の拡充、教育環境を整備するための予算を確保・拡充すること。

４　子どもたちの心に寄り添うための、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの拡充を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和８年９月25日

内閣総理大臣、財務大臣、
総務大臣、文部科学大臣　殿

非核三原則の尊重と堅持を求める意見書

広島・長崎への原爆投下から81年を迎える中、我が国は唯一の戦争被爆国として、「持たず、作らず、持ち込ませず」の非核三原則を基本姿勢として掲げてきた。国際情勢が厳しさを増す中にあっても、非核三原則の理念は堅持されるべきである。

よって国においては、非核三原則を尊重し将来にわたり堅持するとともに、核兵器のない平和な世界の実現に向け、積極的に取り組むよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和８年９月25日

衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、外務大臣、
防衛大臣　殿



©愛川町

地方税財政制度における新たな行政課題への的確な対応を求める意見書

１　増大する行政需要を的確に把握し、必要な財源を安定的・継続的に確保すること。

２　物価高騰や人件費上昇に対応し、普通交付税不交付団体を含む全ての自治体に十分な財源措置を講じること。

３　ふるさと納税による住民税減収について、不交付団体に過度な負担が生じないよう制度を見直すこと。

４　自治体情報システムの標準化やＤＸ推進に伴う経費・事務負担について、国の責任において必要な支援を行うこと。

５　国の制度改正等により地方に新たな負担が生じる場合は、地方の意見を十分に反映し、必要な財政措置を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和８年９月25日

衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、総務大臣、
財務大臣　殿

あいかわ 議会だより 第191号

令和８年　第３回（９月）定例会　議決一覧表

●全会一致の議案

議案番号	案　件	議決結果
町長提出第５４号	教育委員会委員の任命について	同　意
町長提出第５５号	愛川町基金条例の一部を改正する条例の制定について	可　決
町長提出第５６号	愛川町公共下水道事業の設置等に関する条例及び愛川町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可　決
町長提出第５７号	令和７年度愛川町一般会計歳入歳出決算の認定について	認　定
町長提出第６０号	令和７年度愛川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認　定
町長提出第６１号	令和７年度愛川町公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	可決及び認定
町長提出第６２号	令和７年度愛川町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	可決及び認定
町長提出第６３号	令和８年度愛川町一般会計補正予算（第３号）	可　決
町長提出第６４号	令和８年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	可　決
町長提出第６５号	令和８年度愛川町介護保険特別会計補正予算（第１号）	可　決
町長提出第６６号	令和８年度愛川町公共下水道事業会計補正予算（第１号）	可　決
町長提出第６７号	令和８年度愛川町一般会計補正予算（第４号）	可　決
町長提出第６８号	工事請負契約の締結について（令和８年度中津工業団地第１号公園テニスコート改修工事）	可　決
町長提出第６９号	損害賠償額の決定について（施設管理の瑕疵に係る損害賠償）	可　決
陳情第６号	国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の実現を求める陳情	採　択
委員会提出第１号	国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の実現を求める意見書の提出について	可　決
議員提出第２号	特別自治市制度に関する十分な議論を尽くすことを求める意見書の提出について	可　決

●意見が分かれた議案

○…賛成、●…反対

議案番号	議案等の件名＼議員名	令和あいかわ				公明党			日本共産党愛川町議員団			愛川の新時代		無所属		議決結果
		阿部隆之	茅孝之	花上功	太田正信	岸上敦子	井出一己	佐藤りえ	鈴木信一	井上博明	小林敬子	渡辺基	山中正樹	熊坂健太郎	小島総一郎	
町長提出第５８号	令和７年度愛川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	議長は採決に加わりません	○	○	認　定
町長提出第５９号	令和７年度愛川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○		○	○	認　定
陳情第４号	ｍＲＮＡワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		○	●	不採択
陳情第９号	国に対し、ＯＴＣ類似薬の追加負担の実施を見送ることを求める意見書提出の陳情	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●		●	●	不採択
陳情第１０号	インボイス制度の廃止並びに２割特例及び８割控除を縮小・廃止しないよう求める陳情	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●		●	●	不採択
陳情第１１号	消費税率を一律５％以下への引き下げを求める陳情	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●		●	●	不採択
陳情第１２号	非核三原則の尊重と堅持を求める意見書を国に提出することを求める陳情	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○		○	●	採　択
陳情第１３号	地方税財政制度における新たな行政課題への的確な対応を求める意見書を国に提出することを求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	●	採　択
議員提出第３号	非核三原則の尊重と堅持を求める意見書の提出について	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○		○	●	可　決
議員提出第４号	地方税財政制度における新たな行政課題への的確な対応を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	●	可　決

一般質問

ここはどうなるの

紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは役場等に備え付けてある「会議録」をご覧いただくか、インターネットでご覧ください。
なお、9月定例会の会議録は、12月頃には閲覧できる予定です。

※各議員の写真の横にある2次元コードを読み込むと、本会議での質問動画がスマートフォンやタブレット端末でご覧になれます。

井上　博明　議員　P.10
・茅町長の政治姿勢について　ほか

阿部　隆之　議員　P.11
・ピロリ菌感染対策事業について　ほか

渡辺　基　議員　P.11
・役場庁舎建て替えについて　ほか

花上　功　議員　P.12
・老人福祉センターの検討状況について　ほか

鈴木　信一　議員　P.12
・学校体育館にエアコンを早期設置する考えについて　ほか

太田　正信　議員　P.13
・学校体育館へのエアコン早期整備について

岸上　敦子　議員　P.13
・公共ストックの適正配置と有効活用について　ほか

井出　一己　議員　P.14
・ＧＩＧＡ端末機更新について　ほか

佐藤　りえ　議員　P.14
・地域資源を活用した防災対策について　ほか

熊坂健太郎　議員　P.15
・ホテル誘致について　ほか

宮原用水路

県と連携した歩道整備状況



井上（いのうえ）　博明（ひろあき）　議員

問　令和6年12月議会、令和8年3月議会一般質問で、宮原用水路の歩道化の早期実現を求めてきました。そこで、県と連携した歩道整備の取り組み状況について伺います。

受注者が決定次第測量調査など着手

道路課長　県道54号の宮原用水路を活用した歩道整備事業は、県において既に測量業務に取りかかっており、受注者が決定次第、まずは用水路及び現況の歩道取付け部の測量調査などに着手することを確認しています。

旧半原水源地跡地の利活用

問　旧半原水源地跡地の利活用について、町長の考えを伺います。

地方創生を推進重要施策と認識

町長　地方創生を推進する事業として、平成28年度の基本構想策定以降、町議会検討会や住民説明会、事業者ヒアリングなどを踏まえ、つくり上げてきた事業であり、重要な施策の一つであると認識しています。

【その他の質問項目】
・中学校部活動の地域移行について
・都市公園の整備について



旧半原水源地跡地

ピロリ菌の検診県補助制度活用



阿部 隆之 議員

問 県は令和8年度から、ピロリ菌検診を行う市町村への補助制度を開始しています。胃がん予防には若年期からの対策が重要です。補助制度の活用により9年度からピロリ菌感染対策事業を実施する考えを伺います。

若年層にも拡大検討を進めたい

町長　当面は、現在行っているリスク検診の対象年齢を県の補助対象となる若年層にも拡大するなどの検討を進めたいと考えています。

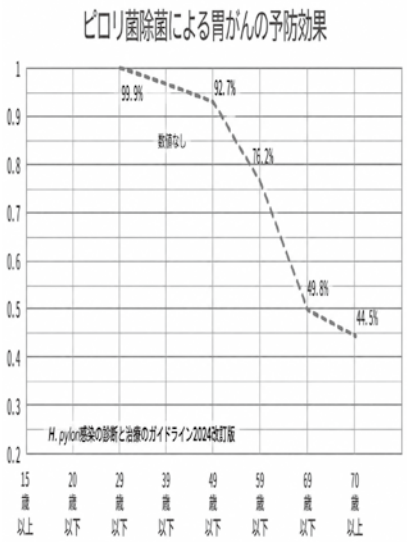
生活課題への相談支援体制

問 近年、住民が抱える課題は、高齢者福祉、障害福祉、子育て、生活困窮、介護、8050問題、ヤングケアラーなど多岐にわたり、複数の課題が重なり合うなど、一つの制度や担当課だけでは対応できないケースが増えています。そこで、複雑化・複合化する生活課題への相談支援体制を構築し、住民がワンストップで相談できる総合的な相談窓口が必要と考えますが、町の考えを伺います。

ワンストップ型窓口総合的な体制の構築

町長　ワンストップ型総合相談窓口は有効な仕組みと認識しています。まずは現在の相談支援体制や関係機関との連携の充実を図り、重層的支援体制整備事業の考え方を踏まえ、住民が安心して相談できる環境づくりと総合的な支援体制の構築に取り組みます。

【その他の質問項目】
・10年後の町民生活について



ピロリ菌除菌による
胃がんの予防効果

役場庁舎等あり方進捗状況について



渡辺 基 議員

問 令和8年度から9年度にかけて「役場庁舎等あり方・機能等検討業務」を開始しました。本業務の進捗状況について伺います。

現状整理と課題抽出若手職員会議立上げ

町長　令和8年度の調査内容は、主に「役場庁舎等の現状整理と課題抽出」、「役場庁舎等に対するニーズの把握」を行います。また現在、各課等に対して、実態調査を行っており、10月には若手職員によるワーキング会議を立ち上げます。

適応指導教室の機能移転

問 適応指導教室は、令和12年度末までに機能移転をするとしています。そこで、施設再編の推進体制と決断について伺います。

田代保育園跡地活用役場周辺の機能再編

町長　令和8年度から国のアドバイザーである東洋大学客員教授による個別コンサルティングを開始しました。その中で、適応指導教室の移転先については、令和8年度末に閉園となる田代保育園の跡地活用方策や、役場周辺の公共施設が持つ機能の再編などを含めた中で、複合的な視点から最も効果的かつ最適な方法を検討していきます。

【その他の質問項目】
・読書環境の整備について



現在の適応指導教室

老人福祉センター機能移転について



花上（はなうえ） 功（いさお） 議員

問 令和8年6月議会では、高峰を除く老人福祉センターは、個別施設計画に基づき、令和12年までに民間を含めた機能移転を見据え、慎重に検討を進めるとの答弁でした。これまでの検討経過について伺います。

他施設への統合も大規模改修が課題

町長　他施設への統合も検討を進めていますが、動線の確保やバリアフリーを整備するための大規模な改修を必要とするなどの課題も見えてきたため、今後も検討します。

循環バス見直しの基本的考え

問 循環バスは、交通弱者の移動を支える重要な役割を担う一方で、運行頻度が少なく利用しづらいといった声も多く聞いています。そこで、令和8年3月「地域公共交通計画」が策定され、循環バスの見直しも予定されていますが、その見直しの基本的な考えについて伺います。

地域公共交通協議会ルートやダイヤ検討

町長　本計画の策定に伴い実施した2，500名を対象とした町民アンケートや、バス利用者ヒアリングなどの結果も踏まえた中で、今後、公共交通事業者や区長会などの地域の多様な関係者で組織する「地域公共交通協議会」で、見直しの方向性をはじめ、具体的なルートやダイヤ等について検討していきます。



町内循環バス
（愛川・高峰ルート）

小中学校体育館エアコンの設置

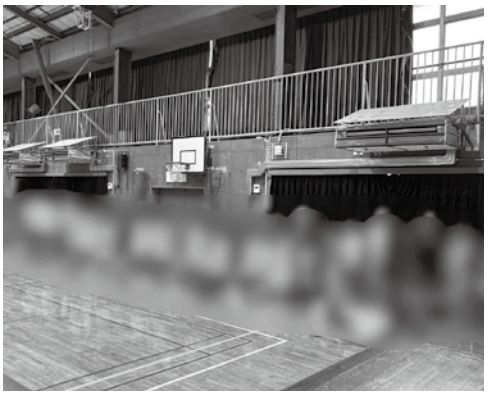


鈴木（すずき） 信一（しんいち） 議員

問 「今、一番の願いは学校体育館のエアコン設置です」と保護者から要望がありました。そこで、学校体育館へのエアコン設置に対する町の考えを伺います。

最も適した導入方法検討を進め取り組む

町長　児童・生徒の教育環境の充実と、避難所機能強化の両面を見据えた中で、本町の学校体育館に最も適した空調設備の導入方法について検討を進め、導入に向けて取り組んでいきます。



体育館にエアコンのある
厚木市立緑が丘小学校

中学校給食の無償化

問 中学校給食の無償化について、令和8年3月議会で井上議員の一般質問で、県内の自治体では6市町村が無償化または半額を実施しているという答弁がありました。本町でも早急に実施すべきと考えますが、改めて町の考えを伺います。

今月から半額補助次年度以降も維持

町長　本定例会において、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、9月から保護者負担分を給食費の半額である3，100円とするための補正予算を計上しました。

今後についても、国において中学校給食費の無償化が実現するまでの間、次年度以降も維持することを基本として、検討していきます。

【その他の質問項目】
・町内循環バスの利用促進の考えについて
・物価高騰対策として地域振興券を発行する考えについて

小中学校の体育館エアコンの早期整備



太田（おおた） 正信（まさのぶ） 議員

問 これまで難しいとされてきた学校体育館へのエアコン設置について、近年の厳しい暑さを踏まえ、早期に整備する考えを伺います。

教育環境の充実 避難所機能強化

町長 エアコン設置は不可欠と認識しています。国の補助制度や個別施設計画との兼ね合いを踏まえ、教育環境の充実と避難所機能の強化の両面を見据え、導入に向けて取り組みます。

小中学校体育館 令和9年度から現況調査

問 体育館は構造、断熱性能、電源容量などが学校ごとに異なります。一斉整備が難しくても、学校間に差が生じないよう、判断基準と整備の見通しを明らかにする必要があります。令和9年度から現況調査に着手し、避難所としての役割や利用状況などを基に、優先順位と整備スケジュールを定める考えを伺います。

9校一斉施工困難 優先順位を定める

教育次長 学校運営への影響、事業者の施工能力、資機材の調達状況、財政面などから、9校一斉の施工は困難であり、段階的に進める必要があります。体育館の利用状況や施設の状態などを踏まえ、総合的に検討し、優先順位を定めます。



体育館エアコン設置のイメージ

おくやみの支援手続きナビ導入



岸上（きしがみ） 敦子（あつこ） 議員

問 おくやみハンドブックに加え、おくやみ手続きナビの導入を含めた手続き支援について、町の考えを伺います。

事業者と連携必要 引続き導入を検討

町長 本システムを提供する事業者との連携が必要となります。現在は連携を希望する自治体が多く、事業者において新たな自治体との連携受付に時間を要する状況と伺っていますので、引続き導入については、検討していきます。

「経鼻弱毒生インフルエンザワクチン」 フルミストに対する町の認識

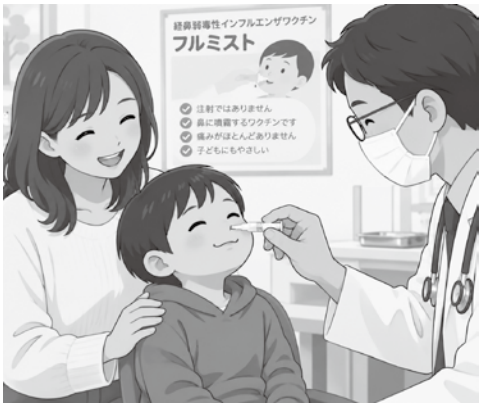
問 令和6年から鼻腔内に噴霧する経鼻弱毒生インフルエンザワクチン（フルミスト）が国内で承認され、注射が苦手な子どもにとって新たな選択肢となっています。そこで、同ワクチンに対する町の認識について伺います。

負担等が大きく軽減 費用助成の対象追加

町長 従来の皮下接種のワクチンと比べ、効果が長く続くこと、12歳以下の場合、2回必要であった接種が、1回のみ鼻に噴霧するかたちとなることから、お子さんにとって注射の痛みや通院の負担が大きく軽減に繋がるものと認識しています。

本町では令和8年9月から当該ワクチンを費用助成の対象に加え、さらなるワクチン接種率の向上と感染予防対策の推進を図ったものです。

【その他の質問項目】
・公共ストックの適正配置と有効活用について



フルミスト噴霧のイメージ

GIGA端末機更新と有効活用



井出（いで） 一己（かずみ） 議員

問 廃棄する端末機をリユース・リサイクルにより資源の状態で販売し、そこから利益を得る企業があります。契約満了後に町の所有となったタブレット端末の、更新計画や既存端末の有効活用・処分を含めた今後の取り組みについて伺います。

夏休み中更新売却契約完了

教育総務課長　8月に業者が回収を行い、データ消去とともに再利用・再資源化する台数を確定しています。更新後の端末は各学校で使用できるように、ソフトウエアのインストールなどの準備を完了しました。

ネーミングライツの導入

問 自治体の新たな財源確保の手法として、施設の命名権を企業に販売するネーミングライツは、今や全国の自治体で、財源確保、施設管理のコスト削減に有効な方法として取り入れられています。本町の導入の考えについて伺います。

ニーズ把握に努め導入に向けて準備

町長　本町にゆかりのある企業から、公共施設のネーミングライツ活用や連携において、興味を示している声が聞かれます。

　事業者側における関心や期待の高さもうかがえますので、積極的に推進すべき施策の一つと捉えています。

総務課長　企業ニーズなどを調査するとともに、公共施設の市場性について把握をし、導入効果が見込まれる場合には、早期に方向性を整理できるように、取り組んでいきます。



ネーミングライツ募集チラシのイメージ（ＡＩにより作成）

避難場所の補完地域資源の活用



佐藤（さとう） りえ 議員

問 避難場所を補完する仕組みとして、地域で日常的に使われている福祉施設等の地域資源を防災対策に活用する考えについて伺います。

協定連携の一層強化避難支援体制の充実

町長　現在、町内4か所の社会福祉施設と災害時の緊急受入れ等に関する協定を締結しているが、連携を一層強化するとともに、新たな施設や企業との連携を図るなど、地域資源を活用した避難支援体制の充実に努めていきます。

児童への熱中症対策の認識

問 近年、猛暑は厳しさを増しているが児童への熱中症対策の認識について伺います。

重要な課題と認識熱中症の未然防止

教育長　学校における熱中症対策は極めて重要な課題であると認識しています。国が示すガイドラインに基づき、「熱中症予防運動指針」に沿った暑さ指数を測定し、その数値に応じて運動や屋外活動の制限または中止を判断するとともに、こまめな水分補給や休憩時間を確保するほか、児童への健康観察及び注意喚起の徹底など熱中症事故の未然防止に努め、登下校時には冷感グッズや日よけグッズの使用を認めるとともに、水筒の携行やこまめな水分補給を推奨するなど気象状況や児童の実態に応じた柔軟な対応を行っています。



木陰で休憩する子ども

企業支援や観光宿泊施設の誘致



くまさか けんたろう
熊坂 健太郎 議員

問 企業活動への支援に加え観光振興にも資する宿泊施設の誘致について、町の考えを伺います。

地域の活性化を図る受け入れ環境の充実

町長 本町には誇るべき地域資源があり、毎年、多くの方が来訪しています。地域資源を有効に活用しつつ、より地域の活性化を図るためには、企業活動や観光などに伴う来訪者の受け入れ環境を充実させ、町のポテンシャルを高めていくことが必要であると考えています。



宿泊施設のイメージ

JA合併への受止めや認識

問 JA県央愛川とJAあつぎの合併は、農業者への営農指導、農産物販売、金融・共済、農業資材の供給などのサービスが維持・向上されることが重要です。また、支所や営農拠点の機能維持、農業振興施策との連携も求められます。そこで、合併後も農業振興と地域農業の持続的な発展に向け、本町は今回の合併をどのように受け止め認識しているか伺います。

重要なパートナー様々な分野で連携

町長 JAについては、地域農業の中心的役割を担う重要なパートナーであるため、合併後においてもこれまでのサービスの維持・向上を求めながら、様々な分野で連携を深め、農業施策の推進と地域の活性化に鋭意、取り組んでいきたいと考えています。

●陳情（審査の結果、机上配付となったもの）

番号	受理年月日	件名	陳情者
5	R8.6.10	町内における奥山再生推進についての陳情	鎌倉市山崎６９１－２ やまびこの会 角田　晶生
7	R8.8.4	令和９年度における「障害者の医療費助成制度」についての陳情	横浜市神奈川区台町７－２　ハイツ横浜 403 号 特定非営利活動法人　神奈川県腎友会 会長　大竹　忍
8	R8.8.4	令和９年度における「透析患者の通院への助成」についての陳情	横浜市神奈川区台町７－２　ハイツ横浜 403 号 特定非営利活動法人　神奈川県腎友会 会長　大竹　忍

視察来町

神奈川県南足柄市

視察日 令和８年７月27日
来町者 南足柄市議会 議会運営委員会 柏木 實 委員長 ほか ８名
視察内容 意見交換会（ワールドカフェ方式）について

栃木県芳賀町

視察日 令和８年10月15日
来町者 芳賀町議会 総務常任委員会 中村 由美子 委員長 ほか ３名
視察内容 消防団活動について

愛知県犬山市

視察日 令和８年10月６日
来町者 犬山市議会 総務委員会 畑 竜介 委員長 ほか ４名
視察内容 消防団活動について



©愛川町

第40回 愛川町ふるさとまつり

議場見学会を開催しました！

愛川町議会では、「より身近で開かれた議会」を推進するため、10/25（日）に『議場見学会』を開催しました。当日は、61名の方が来場され、普段はなかなか入ることのできない議場とその空気感を体験していただきました。











当日、来場された方から寄せられた感想

・普段見ることのできないレア感を味わえました。
・議員さんについて説明してもらえて、よかった。
・愛川町を活性化するよう議論を活発にして欲しいです。

なお、いただいたご意見・ご感想については、広報広聴常任委員会で精査し、今後の広報広聴活動に活かしていきます。

研修会等参加報告

委員長・副委員長・事務局長研修会

■日付　8月5日
■会場　神奈川自治会館
■出席議員
熊坂健太郎 議員
花上　功 議員
阿部 隆之 議員
岸上 敦子 議員
鈴木 信一 議員
佐藤 りえ 議員
渡辺　基 議員
井上 博明 議員
■講師
自治体議会研究所代表
高沖 秀宣 氏
■研修テーマ
「質問力の向上
～議員力・議会力の強化」

町村議会議長会 行政視察

■日付
10月22日～23日
■場所
奈良県三宅町
京都府南丹市美山町
■出席議員
山中 正樹 議員
■内容
・官民連携によるまちづくりについて
・美山町のまちづくり概要、観光まちづくりの変遷について
ほか

『マチイロ』

アプリの紹介

本町を含む各自治体の広報誌が閲覧できる無料アプリ『マチイロ』でも「議会だよりあいかわ」をお届けしています。スマートフォンやタブレットなどで、手軽にご覧になることができます。下記にある２次元コードから専用ページにリンクしますので、ぜひご活用ください。

あいかわ 議会だより 第191号

第41回 議会クイズ

問1 令和８年第３回愛川町議会「９月定例会」で審議した陳情の件数は何件でしょうか？
① １件　② ３件　③ ７件

問2 令和８年１０月６日に消防団活動について愛知県から視察に訪れた市は何市でしょうか？
① 犬山市　② 豊田市　③ 名古屋市


©愛川町

問3 令和8年8月5日に「委員長・副委員長・事務局長研修会」が神奈川自治会館で行われましたが、参加した議員は何名でしょうか？
① １人　② ８人　③ １４人

≪応募方法≫ **町内在住の方**で、１人１通に限ります。答え・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号、また、**必ず**議会だよりの感想（紙面の見やすさなど）をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。
☆**正解と当選者は次号で発表します。**

この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後までよく読んでみてください。感想をご記入いただいた正解者の中から抽選で３名の方に、商品券をお贈りします。

≪しめきり≫ **11月30日（月）（郵送の場合は当日消印有効）**

≪あ て 先≫
- ●はがきの場合　〒２４３－０３９２ 角田２５１－１　議会事務局
- ●ファクスの場合　０４６－２８**6**－５０２１
- ●電子メールの場合　gikai@town.aikawa.kanagawa.jp
- ●オンラインでの場合　右記の２次元コードを活用して、応募ができます。

第40回議会クイズの答えと当選者

前号の議会クイズの正解と当選者は次のとおりです。

〈正解〉
問1　②
問2　①　2,549万8千円
問3　③　令和９年10月14日

〈当選者〉
門屋　路子　様
竹下　京子　様
森　正行　様
以上3名

自治会及び各種団体との意見交換会の申し込みを募集

愛川町議会では、議会基本条例の規定に基づき、自治会及び各種団体との意見交換会の開催申し込みを受け付けています。

開催を希望する団体の代表者の方は、左記の2次元コードからご確認ください。

次回定例会のお知らせ

令和８年12月定例会の日程は、左記のとおりです。会議はいずれも午前９時から開会します。日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

また、その運営について協議・決定する議会運営委員会は、11月20日に開催する予定です。

なお、町ホームページでも次回定例会の日程を公開しています。

令和８年 第４回 12 月定例会日程（予定）

月	火	水	木	金	土	日
	12/1	2	3	4	5	6
	本会議（提出議案の説明）		本会議（一般質問）	本会議（一般質問）		
7	8	9	10	11	12	13
総務建設常任委員会	教育民生常任委員会			本会議（総括質疑・討論・採決）		

愛川町議会ホームページの２次元コード

あいかわ・ほっこり写真館

朝晩の冷え込みに、吐く息も白くなる季節がやってきました。
今号でも、担当する委員一人ひとりが愛川町の魅力を伝えるため、町内を巡り写真を撮影してきました。
それぞれの写真を見て、心が「ほっこり」していただければ幸いです。


ホシヒメホウジャク熱愛行動


「自然の中で遊ぼう」八菅山いこいの森


いちょうの並木道


実りの絨毯


愛川橋と紅葉


白い瀬音が山里に響く


自転車の前カゴに入り上機嫌


山羊さんたくさん食べてね

◎議会クイズはP17ページに掲載しています。

議会だよりあいかわ第192号は、令和９年２月15日発行、3月15日配布予定です。

編集後記

９月定例会では教育委員会委員に齊郷浩之氏の再任や、「愛川町基金条例の一部を改正」など2件の条例を可決したほか、令和7年度決算については、各会派代表質疑や各常任委員会で審査の上で認定しました。

また、特別自治市制度に関する十分な議論を尽くすことを求める意見書など、国へ4件の意見書を提出し、議会としての役割を積極的に行うことができました。

その他にも、ふるさとまつり議場見学会を開催し、町民のみなさまに議会を身近に感じていただきました。今後も広報広聴活動のさらなる充実に努めていきます。

広報広聴常任委員会

委員長　熊坂健太郎
副委員長　佐藤　りえ
委員　花上　功
委員　茅　孝之
委員　鈴木　信一
委員　阿部　隆之
委員　井出　一己
委員　井上　博明